

第 16 回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 平成 29 年 6 月 26 日（月）18 時～19 時
2. 開催場所 中央会館（山形県長井市栄町 7-2）
3. 委員出席 委員総数 : 6 名
欠席委員 : 0 名
出席委員 : 番組審議会会長 勝見英一郎
番組審議会副会長 齋藤 喜内
番組審議会委員 塚田 弘一
番組審議会委員 寺嶋 宏武
番組審議会委員 村田 裕子
番組審議会委員 谷澤 秀一
放送事業者側出席 黒澤 栄（代表取締役）

4. 議題

- (1) 代表者挨拶
- (2) 御審議
- (3) その他

5. 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 御審議

①番組の適正について

対象番組：「第 28 回ながい黒獅子まつり公開生放送」

新番組：特別番組：2017 年 5 月 20 日（土）午後 3 時～午後 9 時

②質疑応答

③その他

④閉会

6. 審議内容

①番組の適正について

(齋藤副会長)

- ・お宮の裏側での公開生放送ということで、非常に臨場感がありよかった。
- ・パーソナリティは、経験を積んで、年々上手くなっている。
- ・長時間にわたる放送のため、後半は、笛や太鼓の音を聴くことに疲れてきた。
- ・インターネットのライブ配信では、獅子の解説をやったと聴いたが、ラジオでも獅子の説明があれば面白いと思う。
- ・公開生放送を聴いて、会場に行ってみたいと思う人と、会場には行けないがお祭りの雰囲気を楽しみたいという人がいる。難しいことだが、誰を対象とした番組なのか、はっきりした方がいい。
- ・インタビューの際、警護だけではなく、神社の総代などにも話を聴いてほしい。

(寺嶋委員)

- ・お祭りの臨場感が感じ取れた。BGMのお祭りの音もちょうど良いボリュームだった。
- ・インターネット中継での、福祉施設で大型ビジョンでの配信、獅子の解説などは、大変良い試みだ。ラジオ放送でも解説できる人を入れるといいのでは。
- ・6時間にわたる生放送だったが、実際にラジオを聴いている人がどれくらいいるのか気になった。
- ・パーソナリティが、3人だと掛け合いが難しいように感じた。
- ・パーソナリティの受け答えの言葉遣いや、イントネーションが気になるところがあった。

(谷澤委員)

- ・お宮の後ろからの放送だったので、ラジオを聴く人にも臨場感が伝わったと思う。
- ・会場では感じないが、ずっとお囃子の音が鳴っているのは、ラジオを通して聴くと一方的に聴かされているような感じがする。
- ・インターネットの配信で、獅子の解説を行っていたということだが、ラジオを聴きながら、(会場で) 見ている人も楽しめるようにラジオでも解説を流したらいいのでは。
- ・獅子に参加した人(警護など)へのインタビューは、生の声が聴けて面白かったが、受け答えにちぐはぐな面もあり、もう少し工夫してほしい。

(塚田委員)

- ・臨場感があり、とてもよかった。お祭りの音も地元で育った者としては、うるさく感じ

なかった。

- ・リスナーから「楽しい」というメッセージもあり、会場とリスナーが一体になっていると感じた。
- ・獅子舞の特徴やどんな様子かをもう少しリアリティを感じるように伝えられるよう工夫してほしい。
- ・獅子博物館のある場所が知らない土地（埼玉県白岡市）なので、どういう字を書くのか、どのような特徴がある場所なのか等の質問もしてほしかった。
- ・獅子博物館の館長さんの名前を、フルネームで紹介した方が、尚よかった。獅子博物館についての情報もあればよかった。
- ・各神社の他との違いを一言二言でも質問すると、違いがわかり、もっと面白く見ることができると思った。

(村田委員)

- ・折々に交通情報があったのがよかった。黒獅子まつりは駐車場に困るので、駐車場の空き情報もあればなおよい。
- ・獅子博物館の館長の話は、面白かった。全国各地に他の獅子もあるとのことだったのでそういう話も掘り下げてほしい。
- ・インターネット中継でやっていた獅子の解説を、ラジオでもやってほしい。細かい解説があれば、地元以外の人も楽しめる。
- ・警護の話も面白かった。気に入った獅子があれば、神社の例大祭に行ってみたいと思うので、例大祭の情報（質問）はとてもよかった。
- ・お祭り会場の出店の話や会場となっている白つつじ公園の話もすればもっとワクワク感が伝わるのでは。

(黒澤)

- ・インターネット中継の解説は、中継画面を見ながらの解説で、映像ありきの企画だった。ラジオは、ゲストを呼んでのトークをメインにして企画していた。来年はどうかは今後検討していきたい。

(齋藤副会長)

- ・毎年続けていってほしい。

(黒澤)

- ・黒獅子まつりのインターネット中継、ラジオ中継は、結構な経費が掛かっている。今年は、観光協会さんから少し予算を頂けたので良かった。外部スポンサーは考えていない。地域貢献の意味もあるので、来年も続けていきたい。

(勝見会長)

- ・全体的には、良かったという高評価で、来年度以降も続けてほしい。
- ・パーソナリティも上手くなってきている。
- ・交通情報もあり良かった
- ・祭りの臨場感や雰囲気は伝わって来た。
- ・祭りの太鼓の音は、その場で聴くのとラジオを通して聴くのでは、違う。ラジオの音は補聴器の音のように雑音まですべて聴こえるので違和感を覚える人もいるのでは。ラジオの場合、周りの音をどの程度入れるかその辺も加味する必要があると感じた。
- ・課題の一つとして、聴いている人がどのように考えて（受け止めて）いるかを意識する、もう一つの課題は、パーソナリティは良くやっているが、更に良くするために事前に知識を入れて挑めば、語尾を伸ばすことや、「えー」という繋ぎの言葉が少なくなり、聴きやすくなる。一つ一つの言葉のアクセントも意識してほしい。

②質疑応答

(勝見会長)

- ・聴取率を調べるための不特定多数の人への調査を実施する予定はないのか。

(黒澤)

- ・Webのアクセス数や動画の再生回数のように、残念ながらラジオでは、聴取率をリアルデータとして取れない。
- ・前は、ガソリンスタンドで聴取率アンケートを実施した。現在はスポンサーのアンケートを実施している。聴取率を取る方法については、今後は検討したい。
- ・パーソナリティの喋り方の癖については、個別に話しているが、生来の癖は簡単には改善できない。それぞれの個性を生かしながら、対応していきたい。
- ・聴取率をとったり、審議委員会が MuB に見学に行ったりするラジオ局は、珍しい。JCBA の総会等に行くと他のラジオ局からは、おらんだラジオは企画が面白いと言われる。

③その他

- ・7月1日付の市報と共に市内全戸に「おらんだラジオ通信」8号を配布している。スポンサーや取材先、商店街へのアンケート調査を実施しており、頂いた意見を途中経過として掲載している。できないこともあるが、極力対応できるように努力していきたい。
- ・貴重な意見を沢山頂戴したので、来年は更に良い放送になるよう努力していきたい。

7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
・特になし

8. 審議会の意見の概要の公表
公表方法：自社ホームページへの掲載
公表内容：本議事録
公表年月日：平成 29 年 8 月 21 日（月）

9. その他の事項
次回の放送番組審議会日程について
・平成 29 年 7 月は休会とする。
・第 17 回放送番組審議会 平成 29 年 8 月 21 日（月）予定
開場 タス 絋